

佐井村地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は漁業・農業が基幹産業であり、農業では水稲＋野菜、水稲＋畜産の経営が主に行われている、農家の経営規模は小さく、自給的な個人経営農家が多い。

鳥獣被害が多く、また、平坦な農地が少なく、農業者の高齢化・担い手不足が進んでいることから大規模化や機械化が困難で、不作付地が増加している。

2 作物ごとの取組方針

村内の約 56ha の水田（不作付地を含む）について、適地適作を基本として、産地交付金を有効活用しながら、不作付地の拡大を抑え、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

地産地消を中心として需要に応じた米の生産を行う。

(2) 飼料作物

飼料作物は、「水稲＋畜産」複合経営の中心であることから、耕畜連携による自給粗飼料の生産を推進していく。

(3) 野菜

「アピオス」など 9 品目を当地域の重点品目とするほか、園芸作物などについて、産地交付金を活用して生産振興を図る。

そのうち、「アピオス」については、「佐井村アピオス振興協議会」が設立され、生産技術の向上や販売促進に積極的に取り組んでいることから、安定生産と栽培面積拡大を目指すため産地戦略枠を活用する。(アピオス：H29 0.5ha)

(6) 不作付地の解消

現行(H25)の不作付地(約 20ha)について、今後 5 年間(H25→H30)で約 1 割(約 2ha)を野菜等の作付けにより解消を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 28 年度の作付面積 (ha)	平成 29 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	6.2	6.2	6.2
飼料用米			
米粉用米			
WCS 用稲			
加工用米			
備蓄米			
麦			
大豆			
飼料作物	13.8	14.0	15.0
そば			
なたね			
その他地域振興作物	1.8	2.1	3.5
野菜	1.7	2.0	3.3
花き	0.1	0.1	0.2
.			

4 平成 29 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 28 年度 (現状値)	平成 29 年度 (目標値)
1	アピオス	地域振興作物	ア	実施面積	0.3ha	0.5ha